

# オレオレ詐欺と還付金等詐欺の手回について紹介

## オレオレ詐欺の手口

1

警察官と名乗る人から電話



「私、〇〇警察署の△△と申します。突然ですが、今日、お宅の息子さんが交通事故を起こしました。念のため本人確認をしたいので、息子さんの**名前と生年月日**を教えてくださいませんか」

「▽▽さん（息子）で間違いありませんね。これから、報告書を作りますので、後ほど本人から連絡があると思います」

### ポイント

不用意に**個人情報**を教えてしまうと悪用されます。他にも同窓生や会社の上司などを装い、個人情報を聞き出してくる場合もあります。怪しい電話は、警察や市役所に相談しましょう。

**ここで怪しいと気づいてください**

2

息子と名乗る人から電話



「もしもし、▽▽だけど、会社の車で交通事故を起こして相手にけがをさせてしまって…。示談するためにお金が必要なんだ。近くにいないから、代わりに会社の同僚に**お金を渡してほしい**」

### ポイント

お金は直接本人にしか渡せない、きっぱり断ってください。**お金を渡す・振り込む、といった話は詐欺の特徴**です。すぐに決断せずに、家族の電話番号にもう一度掛け直して、確認してみましょう。

3

同僚と名乗る人に会う



「▽▽さんからお金を受け取るよう頼まれていたのですが、…間違いなく**届けます**ので、安心してください」

### ポイント

焦りや不安から、冷静な判断ができなくなっています。**お金＝相談のひと手間**が、詐欺被害を防ぐための重要なポイントです。

## 室蘭警察署からのお知らせ —オレオレ詐欺撲滅キャンペーン—

室蘭警察署は、相次ぐ特殊詐欺被害を防ぐため、家族などで決めた合言葉を書き込むことができるシートを作成しました。

シートは、同署窓口に備え付けのほか、同署ウェブサイトから印刷することができます。

▶問い合わせ 同署生活安全課

(☎46 0 1 1 0)



### 詐欺被害を防ぐポイント

○自動通話録音機つきの電話に変える。在宅時であっても留守番電話に設定する。

○家族間で合言葉を決め、電話の近くに合言葉などを書いたメモを置いておくことで、怪しいと感じたときに確認し合う。

○ATMの利用限度額を引き下げることで、被害を最小限にする。

○怪しい手紙が届いたら、一人で悩まずにすぐ相談する。

